

# 第 2 回町田市行政経営監理委員会

## 「アウトソーシング時代の 行政評価について」

政策経営部 経営改革室

2014年10月21日

# 1 アウトソーシングとは

## ▶ (広義)

業務上必要とする資源やサービスを、外部から調達することを意味する

## ▶ (この委員会においては)

市役所の正規職員が直接実施してきた事業を、外部の民間企業やNPO等に担ってもらうこと

## 2 行政におけるアウトソーシングが増えた背景

- ▶ 民間が出来ることは民間ノウハウを活用  
⇒ **サービスの質の向上**  
(=ニーズに対する柔軟な対応の要請)
- ▶ 景気の低迷 ⇒ 歳入の減少 ⇒ 財政の悪化  
⇒ **行革の必要性に迫られる**  
(=歳出削減の要請)

# 3 公共サービスにおける 民間活力導入の転機

- ▶ 2000年度 介護保険制度
- ▶ 2003年度 指定管理者制度

⇒両制度は公共サービスにおいて行政機関が直接的に実施するという前提をやめる

⇒民間活力の導入により

①経済的効率化、②サービス水準の確保（向上）

## 4 自治体アウトソーシングの課題

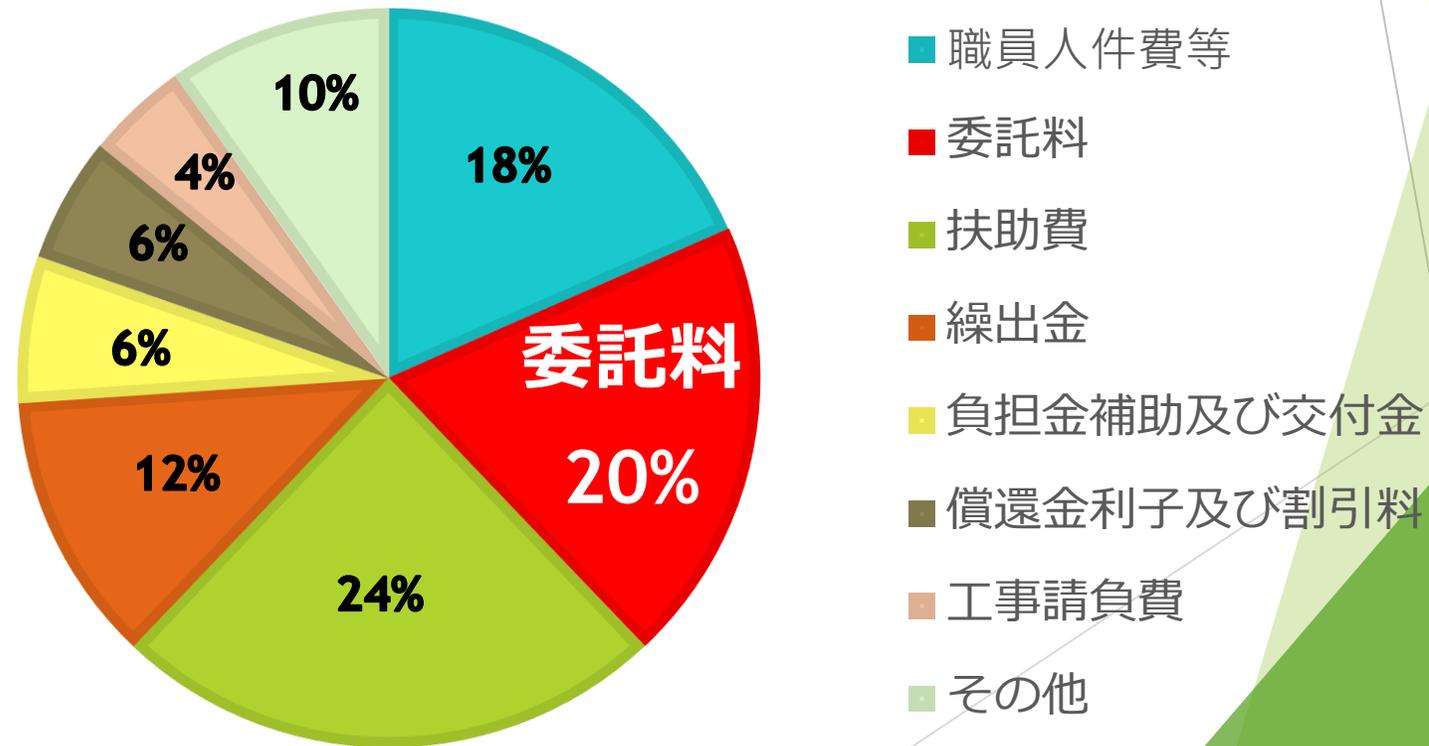
- ▶ アウトソーシングすること自体が目的化  
⇒税金がどこまで有効に使われたかが不明確
- ▶ 組織ノウハウの低下  
⇒現場の実情・実態、課題・問題点の把握が不足
- ▶ 委託業者の指導・管理の必要性  
⇒モニタリング※（履行確認）、委託料の適正性の確保

※委託された事業者により提供されたサービスがあらかじめ定められた水準に達しているか確認・評価すること

# 5 町田市のアウトソーシングの現状

## ▶ (2013年度決算に占める割合)

町田市的一般会計の歳出総額（約1,324億円）のうち委託料（約258億円）の割合は、約5分の1を占める



## 6 町田市が実施している主な委託業務

### ▶ (指定管理者制度)

- ・ 9 2 施設が指定管理制度を導入

例：学童保育クラブ・総合体育館等

### ▶ (業務委託)

例：可燃・不燃ごみ収集業務委託

中学校給食調理・配送業務委託

# 7 指定管理業務の分類

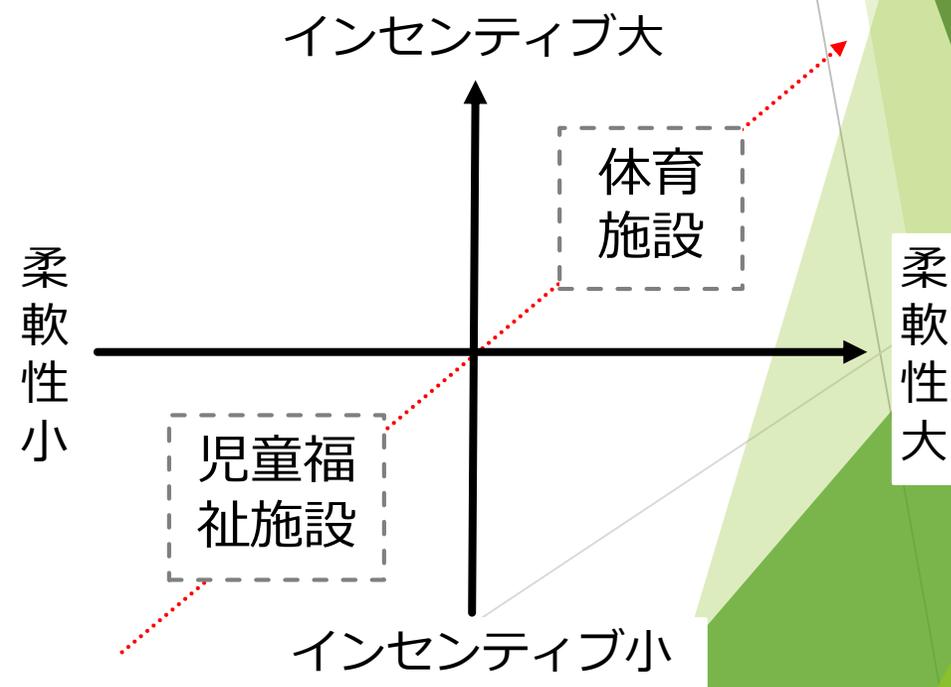
- ▶ 施設運営に、事業者の裁量の余地が大きいか否か、稼働率を向上させることがインセンティブとして働くか否かなどにより、指定管理者制度導入のメリットが活かされるかが変わる。

- ▶ 児童福祉施設

⇒ex:学童保育クラブ

- ▶ 体育施設

⇒ex:町田市立総合体育館



## 8 町田市におけるアウトソーシングの課題

- ▶ 業者と対等に交渉できる「スキル・ノウハウ」の確保
- ▶ 委託業務（モニタリング含む）に対する市職員の意識の低下